

取組事例の名称		防潮堤の仮復旧
概要	対象	防潮堤
	種別	<input type="checkbox"/> 救援 <input checked="" type="checkbox"/> 機能回復 <input type="checkbox"/> 新・増設 <input type="checkbox"/> 復興 <input type="checkbox"/> その他 ()
	規模	防潮堤復旧 L=275m (6箇所合計)
	実施会社	(株)フジタ東北支店
	実施場所	宮城県 石巻 市・町・村
	発注者	宮城県

1. 工事等取組の目的及び概要と採用した技術名称


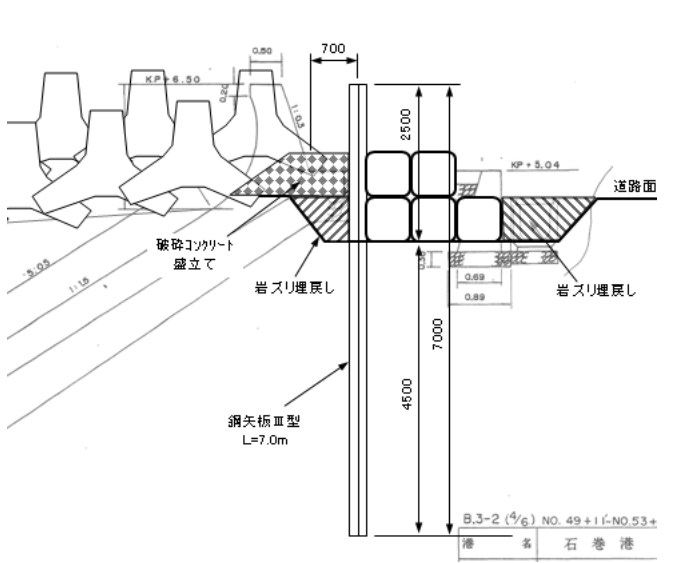

名称：鋼矢板＋消波ブロック＋耐久性大型土嚢

延長10m～200m程度の損壊箇所6箇所を、鋼矢板(Ⅲ型L=7.0m)、消波ブロック(4t)、耐久性大型土嚢を組み合わせ設置し仮復旧を行った。

2. 当該技術を採用した理由、当該技術に期待した成果

震災後の資材調達、防潮堤の耐久性、施工速度を考慮し、発注者に復旧案を提示し承認を受けた。

(写真、イラスト)

<p>復旧前</p> 	
<p>復旧後</p> 	

取組事例の名称	防潮堤の仮復旧
<p>3. 工事等の実施に当たっての課題や留意した事項、苦労した事柄・教訓</p> <ul style="list-style-type: none">・ 鋼矢板・耐久性大型土嚢は、復旧依頼後に直ちにメーカーと協議し、確保に成功した。・ 土嚢作成用土砂・前面盛土材は現地発生材を再利用し、資材不足に対応した。・ 消波ブロックは石巻港に作り置きしてあった製品で、運搬・設置可能な最大なものを選定した。	
<p>4. 実施後の成果に対する発注者や地元住民等の評価</p> <ul style="list-style-type: none">・ 復旧後約1年半が経過するが、機能低下は見られない。	
<p>5. 採用した技術に対する改善点、望まれる技術</p>	
<p>6. 今回の取組を通じ、将来の災害対応の為に準備すべきと感じた事項</p> <ul style="list-style-type: none">・ 緊急資材の調達ルートは常時確保しておく必要があると感じた。	
NETIS登録	